

No Student Left Behind

— 一人の落ちこぼれも出さない教育を —

開倫塾 塾長 林 明夫

1. はじめに

- (1) 「教育の成果」を決定する「要因」は、次の2つ。
 - ① 「本人の自覚」
 - ② 「先生の力量」
- (2) この教務研修会の目的は、2番目の要因である開倫塾の「先生の力量」の向上です。但し、「本人の自覚」を促すことも「先生の力量」に含まれると考えられます。
- (3) 「本人の自覚」を促す力量も含めて、開倫塾の「先生の力量」が、塾生の「教育の成果（「学力向上」と「希望校合格」）」を決定する要因であるため、この教務研修会が開催されます。このことを十分御理解ください。

2. No Student Left Behind — 一人の落ちこぼれも出さない教育を —

- (1) 多くの学習塾、特に受験を中心とする進学塾では、一部の児童・生徒に指導の重点が置かれ、何割かの児童・生徒は十分な指導がされていないとの批判があります。
- (2) 開倫塾においてはこのような批判がないよう、すべての校舎のすべての授業において、先生方がすべての塾生の皆様にフル・コミットメントするようお願い申し上げます。
- (3) 授業中に、十分に「理解」して頂けなかったことについては、「確認テスト」等で「理解」の度合いをはかりながら、十分な「手当て」つまり「補習」をお願いします。
- (4) その具体的方法については、この教務研修会や校舎での meeting で十分議論してください。その成果の「情報の共有化」を、次月以降の研修会でお図り頂ければ幸いです。

3. おわりに

- (1) 「定期テスト」で、全科目 100 点を全塾生にどう取らせるか。
- (2) 「受験校」を、小6生、中3生、高3生だけでなく、小5生、中2生、高2生に1日も早く決定させ、全塾生をどう合格させるか。
*これが「教務」のすべてです。
- (3) 但し、その前提として、①「読書の絶対量」を大幅に増やすことと、②「Learning To Learn」（勉強の仕方を身につけさせること）があります。
頑張りましょう。

以上